

令和 4 年 月 日

旭川市長 今津 寛介 様

旭川市行財政改革推進委員会
会 長 榎 岡 宏 成

令和 4 年度行政評価の実施について（答申）

令和 4 年 7 月 22 日付け旭行革第 66 号にて諮問された標記の件について、別紙のとおり答申いたします。

1 答申に当たって

本委員会は、旭川市の行財政改革を着実に推進し、効果的で効率的な行政サービスの提供と市政における透明性を確保するため、事務事業の評価について諮問を受けた。

評価対象の事務事業は、一般会計の臨時事業から令和3年度に評価対象とした事業を除いた全141事業のうち、第8次総合計画における各基本目標から幅広く選定し、12事業とした。

評価に当たっては、事務事業のインプット、アウトプット、アウトカム等を確認し、類似事業の有無等を踏まえ、行財政改革の視点から課題とその改善・対策の方向性等について所管部局へのヒアリングを行った上で審議した。

評価対象事務事業の所管部局においては、この評価結果を基に事務事業の課題への対策や改善に取り組まれない。

なお、全141事業を対象とする2次評価に当たっては、本委員会の評価結果を参考に評価を実施するよう期待する。

2 審議の経過

開催回	開催日	審議内容
第1回	令和4年7月22日	・諮問 ・評価対象事業の選定と進め方
第2回	令和4年7月29日	・施設等利用費給付事業 ・買物公園自転車対策事業
第3回	令和4年8月22日	・学校ICT環境整備事業 ・スクールバス運行事業
第4回	令和4年8月29日	・高齢者バス料金助成事業 ・観光情報センター運営事業
第5回	令和4年9月1日	・鳥獣対策事業 ・最終処分場周辺環境保全対策事業
第6回	令和4年9月5日	・ふるさと納税推進事業 ・税総合オンラインシステム整備事業
第7回	令和4年9月9日	・生活保護適正実施推進事業 ・広域行政推進事業
第8回	令和4年10月21日	・答申

3 評価結果

事業名称	施設等利用費給付事業
評価の視点	デジタル化・DX，業務の効率化
改善・対策の方向性	利用者の視点に立ったサービス向上のため，国が進めるシステム標準化の動向に併せて手続のオンライン化を検討すること。 また，子育ての出費を負担に感じている市民の割合の推移と本事業成果の関係を分析するなど，引き続き，安心して子どもを生み，育てることのできる環境づくりに努めること。

事業名称	買物公園自転車対策事業
評価の視点	連携・協働の推進
改善・対策の方向性	中心市街地の安全・美観を保持するため，引き続き，事業規模等を見直しながら買物公園及び周辺市道の放置自転車調査・撤去，啓発活動等を継続すること。 なお，中心市街地の賑わいづくりの視点から，自転車活用施策と他事業の連携を検討すること。

事業名称	学校 ICT 環境整備事業
評価の視点	デジタル化・DX，業務の効率化，職員能力・組織力の向上
改善・対策の方向性	教育現場におけるタブレット端末の活用について，現状の分析・検証等に努め，児童生徒及び教員がより一層有効に活用することができる手法を検討すること。 また，時代に即した教育環境の安定的な継続が可能となるよう，限られた予算の中で，効果的・効率的な整備や支援を進めること。

事業名称	スクールバス運行事業
評価の視点	アウトソーシング，事業費の抑制，連携・協働の推進
改善・対策の方向性	統廃合で閉校となった学校の通学区域に居住する児童生徒の通学手段を安定的に確保するため，アウトソーシングのほか，地域交通の活用や近隣自治体との連携を検討するなど広い視点をもって事業に取り組むこと。

事業名称	高齢者バス料金助成事業
評価の視点	デジタル化・DX，収入・財源の確保

改善・対策 の方向性	高齢化が進行し、高齢者の積極的な社会参加と健康の維持増進が求められる中、その財源確保や事業費の抑制に努めなければならない。市独自の事業であることから、類似事業を調査し、カード交付時や1乗車当たりの負担金、対象年齢等の助成対象範囲を見直すなど、効果的・効率的で持続可能な制度となるよう検討すること。 なお、ICカード導入で硬貨の準備や両替の手間を減らす等の利用者の目線に立ったサービス向上を期待する。
---------------	---

事業名称	観光情報センター運営事業
評価の視点	連携・協働の推進，職員能力・組織力の向上
改善・対策 の方向性	観光客の滞在時間や宿泊数，リピーターの増加を目指すなど観光施策を総合的に推進する中で，コロナ禍やデジタル化など日々変化する社会情勢に柔軟に対応し，データ分析の活用等により観光客の利便性とホスピタリティの向上を目指すこと。 また，外国人観光客の増加を見据えて，多言語対応の充実に向け，アプリの活用など効率的で利便性の高い手法を検討・構築し，安定した運営に努めること。

事業名称	鳥獣対策事業
評価の視点	アウトソーシング，連携・協働の推進
改善・対策 の方向性	ヒグマ出没対策は，市民の安全・安心を第一に，生態調査の結果や専門家の助言による行動予測に基づき効果的かつ効率的に市街地，農地等への侵入抑制に努めること。併せて，北海道警察との協議など関係機関との連携強化を図り，手先を打つなど危険個体への対応に十分に備えること。 カラス威嚇行為対策は，関係部局と十分に連携し，計画的な駆除，捕獲等を検討すること。

事業名称	最終処分場周辺環境保全対策事業
評価の視点	事業費の抑制，連携・協働の推進
改善・対策 の方向性	最終処分場周辺地域の自然環境及び地域住民の生活環境の保全のため，引き続き調査項目を厳選するなど事業費の抑制に努め，なおかつ必要な環境調査を継続すること。 なお，ごみ処理関連施策を進めるに当たっては，次世代に対して責任を持てるように，環境負荷を低減し，持続可能な循環型社会の形成に努めること。

事業名称	ふるさと納税推進事業
評価の視点	デジタル化・DX，アウトソーシング，収入・財源の確保
改善・対策 の方向性	寄附金と経費の全体収支向上を図るため，多様な返礼品を用意するなど寄附の選択肢を充実させていくとともに，これまでの寄附実績を十分に分析し，戦略的なPRを進めること。 なお，ワンストップ特例申請のオンライン化を進めるなど，寄附者の利便性向上と職員の業務効率化を図り，事務的経費の抑制にも努めること。

事業名称	税総合オンラインシステム整備事業
評価の視点	デジタル化・DX，事業費の抑制
改善・対策 の方向性	令和8年1月に標準仕様準拠システムに移行完了予定であることから，その間は，現行システムの改修費用が最小限となるよう努めること。 新システムの導入に当たっては，納税者の利便性向上，職員の業務効率化，将来的な改修コストの抑制等に大きな影響を及ぼすことを踏まえ，十分に検討すること。

事業名称	生活保護適正実施推進事業
評価の視点	デジタル化・DX，業務の効率化，連携・協働の推進
改善・対策 の方向性	適切に生活保護業務を実施するため，コロナ禍やデジタル化などの社会情勢の変化を踏まえた就労支援に努めるとともに，ボランティア等の受入先の充実を図るなど，引き続き，就労準備段階における就労意欲の喚起に取り組むこと。

事業名称	広域行政推進事業
評価の視点	業務の効率化，連携・協働の推進
改善・対策 の方向性	将来を見据えて広域行政を推進するため，連携する取組を拡大するとともに，広域観光のネットワーク化，旭川空港の利用拡大等の既存の取組の深化を図ること。 その推進に当たっては，圏域を牽引する旭川市が更なるリーダーシップをとり，庁内部局及び各町と連携して取り組むこと。

「旭川市行財政改革推進委員会」委員名簿

(敬称略, 五十音順)

	大森 六郎	公募委員
	奥山 兼子	公募委員
	佐々木 潔	旭川大学 教授
	長谷川 芳史	税理士
	宮崎 祐伍	学生自主組織はしっくす
会長	靱岡 宏成	北海道教育大学旭川校 教授